

安心 誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり

(1) 誰もが安心して暮らせる地域社会の構築

⑤社会保障制度を適切かつ健全に運営する



現状と課題

- ◆医療保険制度は、市民のいのちと健康を保つ制度として安定的に運営していくことが必要です。
- ◆国民健康保険制度は、被保険者の高齢化や医療技術の高度化に伴って1人当たり医療費が増加傾向にあり、事業運営は厳しい状況が続くものと見込まれるため、財政運営の安定化を推進していくことが必要です。
- ◆制度改革に的確に対応するとともに、国民健康保険税・介護保険料および後期高齢者医療保険料の収入確保が必要です。
- ◆被保険者の生活の質の維持および向上を図り、医療費の伸びを抑制する観点から、生活習慣病※1の発症や重症化を予防する取組が必要です。
- ◆福祉医療費等助成制度の持続可能な制度運営により、障がいのある人やひとり親家庭等の健康保持と福祉の増進を図っていくことが必要です。
- ◆高齢化等により自立が困難な被保護世帯への適切な支援が必要です。
- ◆生活を支える年金制度を安定させるため、制度に対する理解の促進に努めることが必要です。

施策の方針

国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の適正かつ安定的な運営を推進するとともに、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援することにより、生活習慣病の予防に取り組むなど、医療費の適正化に努めます。また、今後も安心して医療を受けられるよう福祉医療費等助成制度の適正な運営に努めます。

市民が健康で文化的な生活を営めるよう、生活保護制度の周知と適正な運営に努めるとともに、安定した生活を送ることができるよう支援します。

日本年金機構等の関係機関と連携しながら、国民年金制度に対する正しい理解と関心を深め、制度改正についても理解を得られるよう周知を図ります。

※1 生活習慣病…食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に関与する疾患群。